

第3回おのみち100km 徒歩の旅

事業報告会アンケート

《設問10 ご家庭での躰に関して変えた点がございましたらお書きください。》

- ・ 何から何まで親が先回りして言うのではなく、子どもに考える時間を持たせ、自分で責任を持って行動できるよう変えていきたいと思っています。(なかなかこちらも難しいので徐々に・・・)
- ・ 頑張っって帰って来たので、余計に甘くなったような気がします。
- ・ あまり変わっていない。
- ・ 自分で考えて行動できるように、あまり注意などもしなくなりました。
- ・ 子どもが怠けて宿題など途中で投げ出したがった時など、自分で決めたことは最後までやらせるようにしました。
- ・ あまり頭ごなしに怒らなくなった。
- ・ 少し待てるようになったと思う。
- ・ 研修会などで、日々の子育てについて反省させられたり、アドバイスをいただいたりするのですが、2～3日は気を付けているのですが、自分自身なかなか変われなくて・・・良いお母さんにならなくても少しずつアドバイスを思い出しながら今の子どもの想いを大切にしていきたいです。
- ・ 何度も繰り返して言うのを止めました。少し時間を置いて子どもが自分で動くのを待つようにしています。
- ・ 前よりも手伝いをさせるようになりました。
- ・ これと言って変えていません。
- ・ 行動に責任を持つ。
- ・ 自分のことは自分で出来るだけやるように！！最後まで頑張っってやり通すこと！！
- ・ 本人に任せ、考える時間を多く取るようになった。
- ・ もう少し子どもを信じてみようと思うようになった。
- ・ 特にありません。
- ・ 社会で生きる＝集団生活が出来るように躰けること、自立できる子にしたいと思う。おとなになっていることを考えて接していきたい。
- ・ 未っ子ということで甘やかしてきたと思います。100km 完歩出来たというのは“まだまだ何もできないのでは・・・”という私の考えも変わりました。
- ・ 頑張ったことにはしっかりと褒めてやりたいと思います。頑張っていることを見守ってやれる大きな気持ちを持ちたいと思います。
- ・ 特に変わったことはありませんが、挨拶をきちんとすることを家族全員で心掛けるようにしています。
- ・ 何でも私が先に口や手を出すのではなく、見守って助けを求めて来た時に口を出すよう心掛けています。
- ・ 子どもの話を時間を掛けて聞くようにしています。
- ・ 親が手を出し過ぎない。(子どもより先に何でもしてしまうので、気長に待つ。)
- ・ あまり口出しせず、本人に任せるようにしました。
- ・ 本人に出来るだけ何でもさせるようにしました。
- ・ 口出ししたり、手を貸したりではなく、待つてあげることの大切さを知りました。なかなか出来ませんが、頑張ります。
- ・ 何でも本人に任せて“信じて待つ”というようになりました。
- ・ なるべく自分のことは自分でさせるようにしています。子どもが何かで落ち込んでいる時は“100km も歩いたんだらう！”と励ますようにしています。
- ・ 今の所、特に変わった、変えた点はありませんが、先々、口を出すのではなく、待つことも大切だと感じています。
- ・ いろんな話(両親のこと、家族のこと)を話し合うようになった。
- ・ 自分のことは自分です。自分一人だけで生きているんじゃないっていうことをどんどん体験させていきたいです。

- ・ 周りへの気配りを気にするよう、しつこく言うようになった。事前準備をきっちりとするよう
にチェックを厳しくした。
- ・ 100km 完歩したことで見方も変わり、ガミガミ怒らないようにしました。これからも自分
で参加したいとか、前向きな発言をしたら、どんどん受け入れたいと思います。
- ・ 子どもの意見を良く聞く。
- ・ 何事にしても最後まで諦めずやり遂げるように声を掛け見守るようにしています。以前は手
を貸したり、途中でも許していましたが・・・
- ・ 保護的で、守ること、口うるさく言うことがとても多かったけれど、子どもに任せてみよう、
信じよう、きっと大丈夫だ！！という気持ちになり、前よりも少し離れて見れるようになっ
た。
- ・ 自主性、自分（子ども）の意見を尊重するよう、心掛けたいと思います。
- ・ 以前より厳しくしているかもしれない。
- ・ もう少し子どもに任せることも大切と思い、以前より意識して変えている段階。
- ・ なるべく褒めるよう心掛けた。